

# WEB版 みやぎ県議会だより

宮城のいま、議会から。

2026.1.23 発行



## 令和7年11月定例会

※クリックしていただくと各ページの最初の画面に移動します

[\*\*■ 新議長からのメッセージ\*\*](#)

[\*\*■ 定例会のあらまし\*\*](#)

[\*\*■ 一般質問\*\*](#)

[\*\*■ 予算特別委員会\(総括質疑\)\*\*](#)

[\*\*・高校生と宮城県議会議員との意見交換会\*\*](#)

[\*\*■ 常任委員会\*\*](#)

[\*\*・新 常任委員会の委員\*\*](#)

[\*\*■ 調査特別委員会\*\*](#)

[\*\*・新 調査特別委員会の委員\*\*](#)

[\*\*・県議会コンサート\*\*](#)

[\*\*■ 議決した議案等\*\*](#)

[\*\*■ 議長記者会見\*\*](#)

本音で向き合い、

託された想いを県政へ――



## 新議長からのメッセージ

第47代宮城県議会議長に就任しました佐々木幸士でございます。議長の大任を拝しましたこと、そして果たすべき責任の重さに、改めて身の引き締まる思いをいたしております。

地方自治を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化、持続可能な地域経済の確立など、多くの課題に直面しております。中でも、私たちが最大の使命として取り組まなければならぬのは、発生から間もなく15年が経過しようとしている、東日本大震災からの復興完遂であります。

ハード面での復旧・復興が概ね完了した一方で、地域経済の再生、特に沿岸部の生業の回復や、被災された方々の「心の復興」は依然として途上にあり、皆様の心に寄り添った、息の長い支援が必要であると考えております。

また、人口減少・少子高齢化対策、国際情勢の影響による物価高騰への対応、DXの推進、激甚化・頻発化する自然災害への備え、鳥獣被害が及ぼす県民の不安払拭など、県政を取り巻く様々な課題が山積しており、県議会の果たすべき役割は、今後ますます大きくなっていくものと考えております。

私としましては、これまで、歴代議長並びに議員各位が築いてこられた宮城県議会の伝統と権威を引き継ぎ、県民の皆様の負託に応え、県勢の発展に寄与できるよう、全身全霊で取り組んでまいります。

県民の皆様方の、なお一層の御支援、御鞭撻をお願い申し上げます。

令和7年11月 宮城県議会議長 佐々木 幸士



## 11月定例会のあらまし

第398回宮城県議会(11月定例会)は  
11月27日から12月17日まで、21日間  
の会期で開かれ、手数料条例の一部を  
改正する条例など48議案を原案どお  
り可決・同意しました。

本会議の様子

# 一般質問



■令和7年12月4日～12月10日

※令和7年12月6日～12月8日は休会です。

一般質問では、「ツキノワグマ被害」に関することや「知事の政治姿勢」について、多くの議員が取り上げたほか、「教育」「医療・福祉」「観光・産業」に係る施策などについて、幅広く議論を交わしました。

一般質問の様子

～会派名略称～

自由民主党・県民会議(自民)、みやぎ県民の声(県民の声)、日本共産党宮城県会議員団(共産)、公明党県議団(公明)、立憲・無所属クラブ(立無ク)、21世紀クラブ(21世紀ク)、日本維新の会(維新)

## 質問 災害時、医療的ケア児者の電源確保について

災害時の電源途絶は、医療的ケア児者にとって「いのちのカウントダウン」である。市町村格差をなくすため、県として統一方針を示し、確実に支援が届く体制を構築すべきだが、いつまでに何を示し、どう徹底するのか。

### 保健福祉部長 引き続き市町村に対して助言等を行い、地域の実情に応じた体制の整備を支援していくと回答

県ではこれまで、「避難行動要支援者等に対する支援ガイドライン」において、電源喪失が命に関わる方については、個別避難計画作成の優先度が高いと明記し、本人の状態等に応じた支援が円滑に受けられるよう具体的な計画の作成を促すとともに、福祉避難所となる施設管理者と連携した非常用発電機等の整備や、地域の医療機関・福祉施設等との協力体制を構築することの重要性を示すなど、市町村の平時からの取組を促してきた。

引き続き、ガイドラインに基づき、市町村に対して助言等を行い、県内どの地域においても災害時に必要な支援が受けられるよう、地域の実情に応じた体制の整備を支援していく。

小畠仁子議員  
(県民の声)



議員名簿

令和7年12月4日 質問



録画

その他の質問 住みたい地域に住み続けられる宮城県政について

## 質問 農林水産高校の産業教育手当の見直しについて

農林水産高校の産業教育手当の現行水準6%を、本来水準の10%にするよう、早急に対応すべきであると思うがどうか。

### 教育長 文部科学省通知の内容を踏まえ、関係部局と連携しながら対応を検討すると回答

我が県においては、農業、水産、工業高校の教員及び実習助手に対して給料月額の6%を支給している。この支給水準は、昨年度の文部科学省による調査において、6%を超えて支給している団体が12団体、6%以下が22団体、その他定額制等としている団体が13団体であり、我が県は中位程度となっているが、昨年2月の文部科学省通知の内容を踏まえ、関係部局と連携しながら対応を検討する。



守屋守武議員  
(自民)



議員名簿

令和7年12月4日 質問

その他の質問 村井知事6期目の政治姿勢について／水産宮城の諸課題について／スポーツ振興について／防災庁の宮城県誘致について



録画

## 質問 クマ被害対策について

警察官がクマ駆除に参加可能となり、猟友会との連携訓練や防護服の準備が必要と考えるがどうか。また、警察官以外への防護服の準備について検討状況はどうか。



熊谷義彦議員  
(立無ク)



議員名簿

令和7年12月4日 質問



録画

その他の質問 県立高校における教育環境について(タブレット)



伊藤吉浩議員  
(自民)



議員名簿

令和7年12月4日 質問

## 質問 集大成に向けた取組について

5期20年「富県宮城」を目指し、様々な取組を実施されてきたが、県民に対して成果が上げられていない分野がある。こうした分野に対し、しっかり成果を上げることが6期目の集大成と考えるが、難しい課題分野と集大成に向けた取組についての所見はどうか。

答 事 道筋がついていない個別課題や人口減少社会への対応に取り組んでいくと回答

この20年間、東日本大震災をはじめとする数多くの困難に向き合いながら、その時々の政策課題の解決に全力を尽くしてきたが、気仙沼圏域の防潮堤整備や仙台医療圏の病院再編など、まだ道筋がついていない個別の課題もあり、次の4年間でその実現を目指すことが大きな責務である。また、これまでの様々な取組は、人口減少社会の到来を見据えて進めてきたものであるが、その傾向には歯止めがかかっておらず、更に様々な施策にチャレンジしていく必要がある。

その他の質問 宮城県知事選挙結果について／県政運営の基本姿勢について／富県宮城戦略について／フィールドリサーチについて／トップセールスについて／安全・防災対策について



録画



## 質問 ツキノワグマの対策について

国はガイドラインにおいて、分布域と個体数から保護・管理目標を定めているが、県内のツキノワグマ生息推定数は2,783頭と、国の個体数水準800頭程度を超えており、市街地への出没状況も踏まえ、指定管理捕獲の地区拡大と目標頭数の大幅な増加、分布域の縮小、適正水準の具体化を早期に検討すべきと考えるがどうか。

## 環境生活部長 個体数の削減に向けた取組を強化できるよう、関係者との調整を進めていくと回答

個体数の適正水準については、先月公表された国のクマ被害対策パッケージにおいて、全国的な個体数調査・推計を実施し、個体数の抑制・削減に関する目標設定の考え方を明確化することが示された。これを踏まえ、我が県においても、ツキノワグマの自然増加率などを考慮して、捕獲対象の地域拡大や捕獲目標頭数の増加を検討する。



[議員名簿](#)

さとう道昭議員  
(自民)

令和7年12月5日 質問



[録画](#)

[その他の質問](#)

村井知事の県政運営の姿勢について／  
医療・介護・障害福祉の提供体制について／  
ローコストアリーナ構想について

## 質問 新規就農者支援の拡充について

福島県では、若い青年だけでなく、50歳以上65歳未満であれば新規就農に挑戦できる県独自の支援を行っている。宮城県でも新規就農者支援の対象年齢を早急に引き上げるべきと思うがどうか。



## 農政部長 各種事業を有効に活用することで、新規就農者の確保に取り組んでいくと回答

県では、新たに農業を目指す方などに対し、各種支援策の活用を図りながら、伴走型による支援のもと、安心して就農できるよう取り組んでいる。また、他県の人材確保に関する参考事例なども踏まえ、更なる効果的な施策を検討するとともに、国による新規就農者を対象とした手厚い支援については、50歳以上も対象とするよう要望するなど、人材の確保に努めている。引き続き、各種事業を有効に活用することで、新規就農者の確保に取り組んでいく。



[録画](#)

[その他の質問](#)

知事選の結果と今後の県政運営について／  
航空自衛隊松島基地と「特定利用港湾」について

三浦一敏議員  
(共産)



[議員名簿](#)

令和7年12月5日 質問

# 質問 修学旅行、平和教育について

戦後80年が経過し、戦争を直接知る世代は高齢化し、戦争遺児として育った方々も既に80歳を超え、戦争の記憶は確実に薄れつつある。平和の尊さを伝える責任は、今を生きる私たちにあることから、沖縄県平和祈念公園や広島・長崎の原爆資料館など、平和教育の核心に触れる訪問地を積極的に修学旅行先に組み込んではどうか。

## 教育長 平和についての学びを継続的に支援し、平和な社会に貢献できる人材育成に努めると回答

今年度は、県立高校3校と県立中学校1校が、沖縄県平和祈念公園や、広島県平和記念資料館などを訪問している。来月には、平和な社会の実現をテーマにした「みやぎ高校生フォーラム」を開催し、沖縄を訪問した生徒による意見発表を行うなど、全県の高校生が平和の尊さについて考えることとしている。

今後も、平和についての学びを継続的に支援し、平和な社会に貢献できる人材育成に努めていきたい。



録画

その他の質問 村井知事6期目の当選と覚悟／農業政策について／熊対策について



瀬戸健治郎議員  
(自民)



議員名簿

令和7年12月5日 質問

# 質問 宮城県の新たなデータ取得について

デジタルインテリジェンスとは、デジタル空間で生成・収集されるウェブアクセスログ、SNSの顧客の声などのデータを統合的に分析する能力で、マーケティング施策の最適化、顧客体験の向上などの具体的なアクションにつなげることができる。AIとデジタルインテリジェンスを合わせた機能を宮城県として導入する可能性はどうか。

## 知事 諸課題を整理しつつ、利活用の可能性について研究を進めていきたいと回答

デジタルインテリジェンス技術の発達は、これまで考えられなかったような膨大かつ多様な情報の収集と、重層的な整理、分析が可能になると考えられる。一方で、県におけるデータの収集や整理、分析は、職員個々の能力に依存しており、十分な体制が整っているとは言えず、現実の運用体制や導入コストといった課題があるものと認識している。これらの諸課題を整理しつつ、国や他自治体、民間事業者の事例も参考にしながら、利活用の可能性について研究を進めていきたい。



録画

その他の質問 インド共和国との今後の取組について／宮城県の観光促進について／浦戸諸島について



阿部眞喜議員  
(21世紀ク)



議員名簿

令和7年12月5日 質問

## 質問 観光地松島の交通課題解決に向けた検討状況について

松島イノベーションヒルズを通る県道9号大和松島線から国道346号を結ぶ新たなルートが、国道45号のバイパス化に向けた重要な幹線となり得るとともに早期の完成につながると考えるが、この路線の活用を含めた現時点での検討状況はどうか。

### 土木部長 町の道路整備計画と整合を図りながら、新たなバイパスの具体的なルート検討を進めていく と回答

松島町では、県道9号大和松島線から、現在整備が進められている工業団地「松島イノベーションヒルズ」へアクセスする道路について、仙台松島道路「松島大郷インターチェンジ」の改修計画も踏まえながら検討を行っていると伺っている。

引き続き、国や松島町と緊密に連携し、町の道路整備計画と整合を図りながら、地域に与える影響等を考慮するなど、新たなバイパスの具体的なルート検討を進めていく。

杉原崇議員  
(自民)



議員名簿

令和7年12月9日 質問



録画

その他の質問 主権者教育の一層の充実について／

学校給食の在り方について／ワーケーションの推進について

## 質問 水道事業について

以前の一般質問でも、仙南・仙塩広域水道の基本料金の見直しを求めたが、算定根拠となる計画水量と実際の使用水量との乖離について、この2年間、受水市町とどのような議論を行なってきたのか。また、今後の見通しはどうか。

### 公営企業管理者 受水市町との議論を一層深めながら、来年度内の意見集約を目指して取り組んでいく と回答

県では、令和5年8月に受水市町と取り交わした覚書に基づき、延べ7回にわたり、受水市町の担当課長等で構成する幹事会を開催し、議論を積み重ねてきたが、現時点において料金体系の見直し合意には至っていない。

持続可能な水道経営に向け、再度料金体系の見直し案を提示するなど、受水市町との議論を一層深めながら、来年度内の意見集約を目指してしっかりと取り組んでいく。



菊地忠久議員  
(自民)



議員名簿

令和7年12月9日 質問



その他の質問 村井県政の6期目について

# 質問 貞山運河の利活用について

運河群の歴史を未来へとつなぐためには、教育の中でその歴史を学ぶことが必要である。地域の子どもたちへの学習機会は、未来へとつなぐ大きな一歩となるとともに、ふるさとの自然や文化に愛着を持つきっかけになると考えるが、地域の歴史を学ぶツールとして、貞山運河を含めたみやぎの運河群を活用する考えはあるか。

## 教育長 関係機関と連携しながら、市町村教育委員会や学校に働きかけていくと回答

県内では、地域における運河の役割等を調べる学習を行う小学校や、道徳の授業で活用する中学校など、みやぎの運河群を教材として取り上げている学校もある。

日本一の延長を誇り、歴史的にも大変貴重な遺産である貞山運河を含む「みやぎの運河群」を更に多くの学校でも教材として取り上げ、郷土への理解と愛着を深めることができるように、関係機関と連携しながら、市町村教育委員会や学校に働きかけていく。



録画

他の質問 宮城県のダムの活用について／県立精神医療センターの建て替えについて／東日本大震災の行方不明者捜索と身元不明遺体について



荒川洋平議員  
(県民の声)



議員名簿

令和7年12月9日 質問



わたなべ拓議員  
(自民)



議員名簿

令和7年12月9日 質問

# 質問 クマ対策について

「仙台市鳥獣被害対策実施隊」の半数が75歳以上と高齢化が進んでおり、クマの銃猟に対応可能な猟師も5年後には激減する。県として任期の定めのない常勤の「鳥獣職」としての「ガバメントハンター」職を設け、特に若年人材の雇用・定着を図り、安定的で持続可能な体制を構築すべきと思うがどうか。

## 環境生活部長 若年ハンターの確保に向け、行政における任用形態も含めた様々な手法を研究していくと回答

県では、ハンターの担い手不足に対応するため、警察官・自衛官OBを鳥獣被害対策専門指導員として任用し、来年度から配置拡充を図ることとしている。任期の定めのあるパートタイムでの勤務形態となるが、若年人材の雇用や安定的な体制構築という点ではフルタイムでの任用も効果が見込まれると考える。

一方、民間企業のハンターバンク制度が全国数か所で展開され、新たなハンター養成に貢献している事例も踏まえ、若年ハンターの確保に向けた様々な手法について研究していく。

他の質問 知事選結果の総括と公約について／SNS上の偽・誤情報対策について／新型コロナワクチン接種について



## 質問 「みやぎ防災」アプリについて

「みやぎ防災」アプリで大規模災害時における広域的な避難者支援の実施が可能と強調されているが、各自治体避難所でのアプリの運用環境が整備されていなければアプリ受付はできず、アプリや行政への信頼感をも揺るがす事態になりかねない。現場の実態に即した、市町村との丁寧な協議と支援を求めたいがどうか。

**復興・危機管理部長 避難所運営職員向け研修や避難訓練等を通じて、アプリの円滑な運用に向けて取り組んでいく と回答**

現在、アプリの普及拡大とともに、市町村からの体制整備に対する支援のニーズも高まっている。このため、県では避難所運営職員向けの研修等を行うとともに、アプリを活用した避難訓練や出前講座により、住民に対する普及啓発にも取り組んでいる。引き続き、アプリの普及と円滑な運用に向けて取り組んでいく。

金田もとる議員  
(共産)



議員名簿

令和7年12月10日 質問



その他の質問

災害時の「個別避難計画」について／女川原発の安全管理について／  
「原子力防災訓練」について／中小企業支援対策について

録画

## 質問 宇宙関連産業の企業誘致について

宇宙産業の市場規模拡大や政府の宇宙政策強化、宇宙開発拠点のまちとしての確立を目指す角田市の取組などを踏まえ、県として宇宙関連産業を積極的に誘致すべきと思うがどうか。

**経済商工観光部長 宇宙関連産業市場現状についてしっかりと調査・把握し、今後の誘致に向けた方策を検討していく と回答**



八島利美議員  
(自民)

我が県では、角田宇宙センター内に官民共創推進系開発センターの開設が予定されているほか、東北大学発の宇宙関連スタートアップがあるなど、宇宙関連産業の集積に向けたポテンシャルが高まっているものと理解している。宇宙関連産業を新たな有望市場と捉えている一方、参入には厳しい技術基準をクリアする必要があり、対象企業が限られているなどの課題もある。まずは、宇宙関連産業市場現状についてしっかりと調査・把握し、今後の誘致に向けた方策を検討していく。



その他の質問

県南地区の道路整備促進について／持続可能な農業振興について／  
持続可能な林業振興について／持続可能な観光振興について／  
みやぎの教育振興について



議員名簿

令和7年12月10日 質問

## 質問 宮城県の防災対策について

炎天下での屋外避難は熱中症リスクも高く、津波を避ける二次避難ルート確保も必要であり、国でも改善策を検討すると聞くが、暑さ対策や二次避難を含む我が県の対応方針はどうか。



伊藤和博議員  
(公明)

### 復興・危機管理部長 国の動向や、沿岸市町の意見を伺いながら「宮城県津波対策ガイドライン」の改定を行う と回答

国の「指定緊急避難場所の指定に関する手引き」及び「津波避難対策推進マニュアル」の改定案では、屋外避難場所におけるテント、飲料水、冷却剤などの備蓄を推奨するほか、緊急的に移動が必要な場合に限っては、最大限避難者の安全を確保した上で、津波リスクが低い安全な経路で移動する方針が示されている。こうした国の動向を踏まえつつ、沿岸市町の意見を伺いながら「宮城県津波対策ガイドライン」の改定を行い、住民避難時の安全性向上に努める。



その他の質問 村井知事の6期目の県政運営について／  
みやぎの英語教育推進について

録画



議員名簿

令和7年12月10日 質問



中山耕一議員  
(自民)



議員名簿

令和7年12月10日 質問

## 質問 山の再生とクマ出没抑制について

広葉樹がないところでは、野生の動物は生活できない。針葉樹人工林が広範に存在する現状から、広葉樹主体の混交林化などによる動物などの生息地の回復は、重要な課題である。様々な広葉樹を植林するなど、年中工サが不足しない状態を作るため、県有林の間伐や再造林などを今後どのように進めていくのか。

### 水産林政部長 間伐率の引上げによる針広混交林化や、広葉樹による再造林に取り組んでいく と回答

県有林は、良質な木材の生産を目的に造成された経緯があるが、クマの生息地である奥山において行う今後の森林整備については、通常よりも間伐率を引き上げるなど、針広混交林化にも取り組んでいく。また、県有林のうち皆伐後に森林所有者へ土地を返還するものについては、造林補助制度の活用を提案しながら、広葉樹による再造林を働きかけていく。



その他の質問 知事のリーダーシップについて／  
富谷・黒川地域の医療への支援について

録画

# 予算特別委員会



予算特別委員会総括質疑の様子

## ■総括質疑 令和7年12月11日

予算特別委員会では、令和7年度補正予算について、総括質疑が行われ、各分科会においても審査がなされました。  
主査報告後、採決が行われ、原案どおり可決すべきと決定しました。



**中島源陽委員  
(自民)**



議員名簿

## 質問 **ツキノワグマ対策**について

猟友会と意見交換したところ、狩猟免許取得までには50から60万程度必要で、免許取得後も、様々な手数料や猟友会費、狩猟税や狩猟保険などのほか、銃や弾丸等の道具を揃えると、その倍以上は必要と伺った。ハンター養成とともに、こうした費用に対する負担軽減策を打ち出すべきと思うがどうか。

**環境生活部長 県内26市町村において、免許取得等に対する支援が実施されている と回答**

県では、ハンターの担い手不足に対応するため、新人ハンターの養成や狩猟免許を取得して間もない狩猟者の技術向上を目的とした講座を開催するとともに、有害鳥獣捕獲に取り組む狩猟者への負担軽減のため、猟友会年会費の一部を支援している。また、市町村において免許取得等に対する支援を実施しており、県内26市町村において、試験の受験料や講習会受講料、銃砲及び保管庫購入費等の助成が行われている。県としては、今後、狩猟免許試験の開催回数や時期を拡大するなど、受験者の利便性向上に取り組み、引き続き、狩猟者の確保・育成に努めていく。



**坂下賢委員  
(県民の声)**



議員名簿

その他の質問

補正予算編成にあたっての知事の姿勢について／仙台塩釜港港湾計画の改定について／  
石巻南浜津波復興祈念公園について



録画



録画

その他の質問 熊対策について

## 質問 **追加補正予算**について

物価高や米国の関税措置、さらには昨今の熊出没の影響を受けた中小企業・小規模事業者に対する資金繰り支援や、総合的な相談支援も必要と考えるがどうか。

**知事 引き続き、県内中小企業に対する経営相談や資金面での支援について、きめ細かに対応していく と回答**

県内中小企業からの経営相談については、これまでも、みやぎ産業振興機構やよろず支援拠点、商工会・商工会議所等の関係機関の緊密な連携により、物価高騰をはじめとする相談に応じてきた。また、資金面では、県制度融資により物価高騰のみならず、幅広い資金需要に対応しているところだが、「災害復旧対策資金」の対象となる事象として、新たに「令和7年クマ出没」を指定し、取扱いを開始することとした。これにより、クマの出没によってキャンセルや客足減少に苦しむ旅館・ホテル及び飲食関連事業者に、より低利での資金供給が可能となる。



録画

その他の質問 熊対策について

## 質問 水産加工業者への支援について

水産加工原料の転換支援について、事業者からは新たな加工原料についての情報がないと伺っている。そこで、水産技術総合センターの水産加工チームと連携した、地域単位でのセミナー開催や、事業者訪問による相談支援活動など、水産加工業者に寄り添った情報提供の実施を求めるがどうか。

### 水産林政部長 近年水揚げが増加傾向にある魚種の研究や、水産加工業者への情報提供を進めている と回答

漁獲量の減少や円安等の影響により、水産加工原料の調達が困難になる中、代替原料の導入や、より付加価値を高めた商品開発を行うことは、経営の維持・安定に重要な取組である。このため、県では、水産技術総合センター水産加工開発チームにおいて、近年水揚げが増加傾向にある魚種の成分分析や加工方法の研究、水産加工業者への普及を進めており、その結果、商品化につながった事例もみられている。

引き続き、企業訪問等を通じて水産加工業者が抱える課題等を的確に把握するとともに、事業者に寄り添った支援に努める。



録画



天下みゆき委員  
(共産)



議員名簿

その他の質問 仙台塩釜港環境調査事業と塩釜港区の港湾計画について



外崎浩子委員  
(自民)



議員名簿

## 質問 財政運営の基本方針について

社会保障費の増大や公共施設の老朽化対策など、歳出の増加が見込まれる中で、財政の健全性を維持しつつ将来世代への負担を抑えることは重要と考えるが、今回の任期に当たっての財政運営の方針はどうか。

### 知事 今年度からの新たな財政運営戦略に基づき、メリハリのある財政運営に努めたい と回答

県財政は依然として厳しい状況にあり、義務的経費の硬直化に加え、社会保障費や公共施設老朽化対策費の増加、物価・賃金・金利上昇への対応が喫緊の課題となっている。

こうした状況を踏まえ、今年度からの新たな財政運営戦略に基づき、ふるさと納税の活用や行政運営のデジタル化、外部委託等の推進などにより、財政基盤をさらに強固なものにしていくとともに、富県躍進に向けた政策効果の高い事業に予算を重点配分し、これまで以上にメリハリのある財政運営に努めたい。



録画

その他の質問 国の総合経済対策について



## 質問 物価高への対応について

授業料無償化の所得制限撤廃により不要となる財源を活用し、高校授業料以外の負担軽減について、他自治体の取組を参考にしながら、本県として独自の支援策を検討すべきと考えるがどうか。

**総務部長 今後も他の都道府県の取組や、現場のニーズを踏まえながら検討を進めていく と回答**

所得制限撤廃が、現在、国において検討されているとおり決着すれば、県単独の就学支援金の上乗せ補助は不要となる。私立高校における授業料以外の負担軽減については、奨学給付金のほか、入学金軽減補助などを県単独で行っており、今後も他の都道府県の取組や、現場のニーズを踏まえながら検討を進めていく。



議員名簿



その他の質問

国土強靭化の推進について／  
野生鳥獣被害への対応について

**横山のぼる委員  
(公明)**

## 質問 野生鳥獣被害への対応について

将来の見通しとして、クマの生息環境の保持を図る観点から、山への広葉樹・針葉樹の混交林の造成を強く求めるが、その取組に対する見解はどうか。

**知事 関係者とも連携を図りながら、健全な森づくりを推進していく と回答**

県内における森林整備は、これまでスギを中心とした木材生産に重点を置いて進められてきたが、今後は多様性に富む健全な森づくりの更なる推進が重要であると認識している。このため、クマの生息地である奥山の県有林で行う今後の森林整備については、通常よりも間伐率を引き上げるなど、針広混交林化にも取り組んでいく。また、奥山には、林野庁が管理する国有林や市町村有林も多く存在することから、これらの関係者とも連携を図りながら、健全な森づくりを推進していく。



**かつち恵委員  
(立無ク)**



議員名簿



録画

## 質問 野生鳥獣被害への対策について

テレビで紹介されていた熊の行動実態調査で、里の柿や栗等の存在を知った熊対策として、放置状態の柿の木等の撤去を行う自治体の姿があった。

業務を掛け持ちし対応に当たる市町村の現状を考慮すると、地方振興事務所の積極的支援が必要と考えるがどうか。また、所有者不明で未対処の誘引木等の現状認識と県の支援の可能性はどうか。

**農政部長 引き続き、関係機関と協力し、各地域でクマ被害対策が早期に実施できるよう支援していく と回答**

地方振興事務所では、日頃から市町村が実施する有害鳥獣対策の支援に取り組んでおり、引き続き、技術的な指導・助言も含め、被害防止に向けた最大限の支援に努める。また、誘引木等の中には所有者不明のものも存在し、地域ぐるみで対策を行う際に支障となると認識しているが、基本的には個人の財産として扱われることから、現時点において所有者を確定せず伐採することは難しい。このため、先月、北海道東北知事会において国に対し、所有者不明の土地管理に関する制度の弹力的な運用について検討するよう、緊急要望している。



録画

[その他の質問](#) [総合経済対策について](#)



吉川寛康委員  
(21世紀ク)



議員名簿



石森ゆうじ委員  
(維新)



議員名簿

## 質問 酒造事業者物価高騰対策について

県内酒造事業者が行う高付加価値商品の開発や、輸出拡大を含む新たな販路拡大に対する支援内容について、これまでの実績と併せてどうか。

**農政部長 関係機関や市町村と連携しながら、引き続き、清酒製造事業者に対する支援を行っていく と回答**

県では、清酒製造事業者を含む食品製造事業者等に対し、県産食材を活用した商品作りへの補助や、商品の開発力強化に向けた専門家派遣等を行っている。また、県内外の小売店や飲食店などを産地に招へいする新たな商談機会創出のほか、首都圏等での県産品販売会開催など、日本酒の魅力も様々な場面でPRしている。

輸出の拡大に向けては、主に欧米をターゲットにプロモーションや商流の構築を進めてきたほか、海外での商談会参加など、事業者が現地の取引先を開拓する取組にも補助を行っており、今後、補助上限額の引上げなどの拡充を行うことで、さらに支援を強化していく。



録画

# 高校生と宮城県議会議員との意見交換会



意見交換会の様子(令和7年10月29日開催)

宮城県議会では、県民の皆さんの議会への理解と関心を深め、議会を身近に感じていただくため、「県民と宮城県議会議員との意見交換会」を例年開催しています。

令和7年度は、主権者としての政治参加意識の醸成を図ることを目的として、宮城県泉館山高等学校の生徒と宮城県議会企画広報委員会委員が「教育について」及び「地域環境の安全について」をテーマに意見交換を行いました。



高校生と宮城県議会議員との意見交換会 検索  
クリック!!

# 常任委員会

開会中の令和7年12月15日に常任委員会が開かれ、各委員会で議案等について審議が行われました。



総務企画委員会の様子

## 総務企画委員会 の活動概要

- 議案審査・請願審査・陳情送付
  - ・手数料条例の一部を改正する条例
  - ・宮城県県税条例等の一部を改正する条例 など11件
- ⇒その他の詳細については[こちら](#)

## 環境福祉委員会 の活動概要

- 議案審査・陳情送付
  - ・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律施行条例の一部を改正する条例 など9件
- ⇒その他の詳細については[こちら](#)

## 経済商工観光委員会 の活動概要

- 議案審査・陳情送付
  - ・和解及び損害賠償の額の決定について
  - ・財産の取得について(職業訓練機器一式) など4件
- ⇒その他の詳細については[こちら](#)

## 農林水産委員会 の活動概要

- 議案審査・陳情送付
  - ・指定管理者の指定について(小鰡漁港の指定施設(小鰡護岸横泊地)) など8件
- ⇒その他の詳細については[こちら](#)

## 建設企業委員会 の活動概要

- 議案審査・陳情送付
  - ・簡易給水施設等の規制に関する条例の一部を改正する条例 など10件
- ⇒その他の詳細については[こちら](#)

## 文教警察委員会 の活動概要

- 議案審査・陳情送付
  - ・文化財保護条例の一部を改正する条例 など8件
- ⇒その他の詳細については[こちら](#)

# 新 常任委員会の委員

## 総務企画委員会



委員長  
高橋 宗也  
自民=東松島



副委員長  
わたなべ 拓  
自民=太白



委員  
佐藤 仁一  
県民の声=大崎



委員  
平岡 静香  
県民の声=富谷・黒川



委員  
金田 もとる  
共産=青葉



委員  
横山 のぼる  
公明=太白



委員  
柚木 貴光  
自民=宮城



委員  
渡辺 勝幸  
自民=若林



委員  
村上 智行  
自民=岩沼



委員  
石川 光次郎  
自民=宮城野

## 環境福祉委員会



委員長  
瀬戸 健治郎  
自民=栗原



副委員長  
菊地 忠久  
自民=白石・刈田



委員  
三浦 ななみ  
県民の声=若林



委員  
ふなやま 由美  
共産=太白



委員  
かっち 恵  
立無ク=太白



委員  
大池 康一  
公明=宮城野



委員  
横山 隆光  
自民=白石・刈田



委員  
守屋 守武  
自民=気仙沼・本吉



委員  
高橋 伸二  
自民=柴田



委員  
佐々木 喜藏  
自民=石巻・牡鹿

令和7年11月27日の本会議で常任委員会の委員が選任されました。同日に常任委員会が開催され、正副委員長が選任されました。任期は選任の日から令和8年の最後に招集される定例会の開会の日までです。

# 経済商工観光委員会



委員長  
八島 利美  
自民=角田・伊具



副委員長  
松本 由男  
自民=宮城野



委員  
佐々木 功悦  
県民の声=遠田



委員  
荒川 洋平  
県民の声=名取



委員  
石森 ゆうじ  
維新=青葉



委員  
阿部 真喜  
21世紀ク=塩釜

経済商工観光部の分掌に属する事項  
及び労働委員会の所管に属する事項を  
所管します。



委員  
さとう 道昭  
自民=青葉



委員  
外崎 浩子  
自民=泉



委員  
菊地 恵一  
自民=大崎

# 農林水産委員会



委員長  
伊藤 吉浩  
自民=登米



副委員長  
熊谷 一平  
自民=気仙沼・本吉



委員  
佐々木 奈津江  
県民の声=宮城野



委員  
三浦 一敏  
共産=石巻・牡鹿



委員  
熊谷 義彦  
立無ク=栗原



委員  
吉川 寛康  
21世紀ク=青葉

農政部及び水産林政部の分掌に属する  
事項並びに海区漁業調整委員会及び  
内水面漁場管理委員会の所管に属する  
事項を所管します。



委員  
村岡 たかこ  
自民=青葉



委員  
中島 源陽  
自民=大崎



委員  
藤倉 知格  
自民=富谷・黒川

# 建設企業委員会



委員長  
高橋 啓  
自民=加美



副委員長  
杉原 崇  
自民=宮城



委員  
坂下 賢  
県民の声=石巻・牡鹿



委員  
枠 和也  
県民の声=柴田



委員  
藤原 益栄  
共産=多賀城・七ヶ浜



委員  
伊藤 和博  
公明=泉



委員  
遠藤 隼人  
自民=泉



委員  
佐々木 賢司  
自民=大崎



委員  
佐々木 幸士  
自民=太白



委員  
本木 忠一  
自民=石巻・牡鹿

土木部の分掌に属する事項並びに  
企業局及び収用委員会の所管に属する  
事項を所管します。

# 文教警察委員会



委員長  
伏谷 修一  
自民=多賀城・七ヶ浜



副委員長  
渡辺 重益  
自民=亘理



委員  
小畠 仁子  
県民の声=泉



委員  
天下 みゆき  
共産=塩釜



委員  
渡辺 忠悦  
立無ク=登米



委員  
小野寺 健  
維新=泉



委員  
遠藤 伸幸  
公明=青葉



委員  
高橋 克也  
自民=若林



委員  
村上 久仁  
自民=名取



委員  
中山 耕一  
自民=富谷・黒川

教育委員会及び公安委員会の所管に  
属する事項を所管します。

# 調査特別委員会



議長から知事へ報告書を手渡している様子

令和6年12月11日の設置から約1年間をとおして参考人意見聴取や県内・県外調査等を行い、各付議事件について調査を行いました。調査結果については、11月定例会で報告が行われました。併せて、議長から知事に報告書が手渡されました。

震災復興会  
大調査特別委員会

[報告書はこちら](#)

地域交通対策会  
地調査特別委員会

[報告書はこちら](#)

鳥獣被害対策会  
鳥調査特別委員会

[報告書はこちら](#)

子ども・若者支援対策  
調査特別委員会

[報告書はこちら](#)

県民所得向上対策  
調査特別委員会

[報告書はこちら](#)

# 新 調査特別委員会の委員

令和7年12月17日の本会議で設置が議決されました。同日に調査特別委員会が開催され、正副委員長が選任されました。任期は設置の日から令和8年の最後に招集される定例会の開会の日までです。

## 大震災復興調査特別委員会

大震災復興に関する諸施策について調査検討します。



委員長  
守屋 守武  
自民=気仙沼・本吉



副委員長  
高橋 克也  
自民=若林



委員  
坂下 賢  
県民の声=石巻・牡鹿



委員  
杵 和也  
県民の声=柴田



委員  
金田 もとる  
共産=青葉



委員  
吉川 寛康  
21世紀ク=青葉



委員  
伊藤 和博  
公明=泉



委員  
熊谷 一平  
自民=気仙沼・本吉



委員  
渡辺 重益  
自民=亘理



委員  
高橋 宗也  
自民=東松島



委員  
村上 智行  
自民=岩沼

# 地域交通対策 調査特別委員会

地域交通対策に関する諸施策について調査検討します。



委員長  
佐々木 奈津江  
県民の声=宮城野



副委員長  
藤原 益栄  
共産=多賀城・七ヶ浜



委員  
石森 ゆうじ  
維新=青葉



委員  
横山 のぼる  
公明=太白



委員  
わたなべ 拓  
自民=太白



委員  
瀬戸 健治郎  
自民=栗原



委員  
佐々木 賢司  
自民=大崎



委員  
外崎 浩子  
自民=泉



委員  
高橋 伸二  
自民=柴田



委員  
中山 耕一  
自民=富谷・黒川

# クマ・鳥獣被害対策 調査特別委員会

クマ・鳥獣被害対策に関する諸施策について調査検討します。



委員長  
遠藤 伸幸  
公明=青葉



副委員長  
ふなやま 由美  
共産=太白



委員  
佐藤 仁一  
県民の声=大崎



委員  
平岡 静香  
県民の声=富谷・黒川



委員  
かっち 恵  
立無ク=太白



委員  
柚木 貴光  
自民=宮城



委員  
伏谷 修一  
自民=多賀城・七ヶ浜



委員  
松本 由男  
自民=宮城野



委員  
高橋 啓  
自民=加美



委員  
横山 隆光  
自民=白石・刈田



委員  
藤倉 知格  
自民=富谷・黒川

# 子ども・若者支援対策 調査特別委員会

子ども・若者支援対策に関する諸施策について調査検討します。



委員長  
渡辺 忠悦  
立無ク=登米



副委員長  
さとう 道昭  
自民=青葉



委員  
三浦 ななみ  
県民の声=若林



委員  
小畠 仁子  
県民の声=泉



委員  
三浦 一敏  
共産=石巻・牡鹿



委員  
大池 康一  
公明=宮城野



委員  
杉原 崇  
自民=宮城



委員  
村岡 たかこ  
自民=青葉



委員  
遠藤 隼人  
自民=泉



委員  
佐々木 喜藏  
自民=石巻・牡鹿



委員  
中島 源陽  
自民=大崎

# 県民所得向上対策 調査特別委員会

県民所得向上対策に関する諸施策について調査検討します。



委員長  
小野寺 健  
維新=泉



副委員長  
阿部 眞喜  
21世紀ク=塩釜



委員  
佐々木 功悦  
県民の声=遠田



委員  
荒川 洋平  
県民の声=名取



委員  
天下 みゆき  
共産=塩釜



委員  
菊地 忠久  
自民=白石・刈田



委員  
伊藤 吉浩  
自民=登米



委員  
八島 利美  
自民=角田・伊具



委員  
渡辺 勝幸  
自民=若林



委員  
石川 光次郎  
自民=宮城野



委員  
本木 忠一  
自民=石巻・牡鹿

# 県議会コンサート

第75回県議会コンサートの様子  
(令和7年11月27日開催)



令和7年11月27日、本会議場において第75回県議会コンサートを開催しました。

今回は、羽賀 智美 様をお迎えし、電子マリンバの演奏を披露いただきました。

**【次回予告】第76回県議会コンサート**  
**開催予定日：令和8年2月17日(火) 午後0時15分～**  
**開 催 場 所：県議会庁舎 1階ラウンジ**  
**出 演 予 定 者：Lunette**  
**内 容：フルート、ピアノ、コントラバスによるジャズ演奏**



宮城県議会 コンサート

検 索

クリック!!

# 11月定例会で議決した議案等

議決結果は[こちら](#)・各議員の表決状況は[こちら](#)

## 発 議（可決1件）

- ・県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

## 意 見 書（可決3件）

- ・脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書
- ・インターネット上の誹謗中傷対策の強化を求める意見書
- ・幼児教育の充実及び私立幼稚園・認定こども園への支援拡充を求める意見書

## 知事提出議案（可決42件、同意2件）

- ・令和7年度宮城県一般会計補正予算
- ・手数料条例の一部を改正する条例
- ・宮城県県税条例等の一部を改正する条例
- ・事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例
- ・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律施行条例の一部を改正する条例
- ・児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・簡易給水施設等の規制に関する条例の一部を改正する条例
- ・建築基準条例の一部を改正する条例
- ・文化財保護条例の一部を改正する条例
- ・職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- ・監査委員の選任につき同意を求めることについて
- ・土地利用審査会委員の任命につき同意を求めることについて

他

「WEB版 みやぎ県議会だより」への  
御意見・御感想をお寄せください！

宮城県議会事務局 政務調査課  
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号  
TEL：022(211)3592 FAX：022(211)3598  
Eメール：[gtyosas@pref.miyagi.lg.jp](mailto:gtyosas@pref.miyagi.lg.jp)

# 11月定例会 議長記者会見

議長記者会見の内容は[こちら](#)



## 県議会からのお知らせ

### ●傍聴について

本会議又は各委員会について傍聴を希望される方は、本会議又は各委員会開会時刻の30分前から受付を行いますので、議会庁舎1階へお越しください。

▽お問い合わせ先 宮城県議会事務局総務課  
TEL：022(211)3571

### ●ホームページの御案内

定例会の日程や会議録等を御覧いただけます。

宮城県議会

検索

クリック!!



### ●議会中継の御案内

インターネットで議会中継や録画映像を  
御覧いただけます。

宮城県議会 中継

検索

クリック!!

